

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ハビステ坂之上		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 2日		～ 令和6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職のアセスメントを基に困り感に対するアプローチを行うことができる。	評価や検査を行いやすい環境を整え実施している。	専門職同士でのアセスメント結果の共有をより密に行っていく。
2	事業所の見学など保護者様が相談しやすい環境を作り、情報共有を積極的に行える体制づくりを整えている。	見学の際に利用児の意識が見学者に向かないように別室でリアルタイムでの動作視聴を行える。	情報共有をより密に行えるように保護者様だけでなく園や他事業所の見学も受け入れていきたい。
3	個別活動や小集団活動を固定していないため利用児に合わせて柔軟な支援ができる。	利用児の様子や保護者様からの相談を基に活動の形式を柔軟に変更できるように行っている。	部屋数に限りがあるので個別活動が多くなっても対応できるようにパーティションなどの仕切りの購入を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルについては、保護者が手に取って確認しにくい場所にあること。	職員の閲覧しやすさや、利用児が来所された際のリスクを考え設置していた。	利用児の目が届きにくく保護者の方が手に取りやすい場所を作りマニュアルの設置場所にする。
2	支援時間内で利用児が事業所以外の子供たちと交流する機会がない。	利用時間内では専門職の支援に重点を置いて支援内容の振り分けを行っているため。	意見を確認し必要に応じて交流を行える機会を検討していく。
3	避難訓練など非常災害の発生に備えた対策の周知が不十分である。	職員のみでの避難訓練しか実施しておらず、利用児を含む避難訓練は現在計画中のため周知に至らなかった。	避難訓練の実施や緊急時の対処法などホームページやInstagram等のツールを利用して幅広く保護者へ説明できる機会が提供できるように工夫を行っていく。